

特集 高校生夢トーク～私の考える栃木の未来～



▲歴史ある建造物を実際に目にして



▲フィールドワークで実際にとちぎの街を歩く



▲初顔合わせ、まだどことなく緊張の面持ち



▲みんなで協力しあって発表したチーム②



▲市長に直接訴えながら発表を進めたチーム③



▲カフェとして利用されている蔵を見学



▲ファシリテーターの陣内先生によるまとめ



▲夢トーク終了、みんなでガッツポーズ！



▲ラジオのデモ番組を作ってアピールしたチーム①

高校生夢トーク参加者

チーム① 「天チャンズ」

- 清水さん (栃高)
- 柿沼さん (栃女)
- 堂下さん (栃農)
- 飯村さん (栃工)
- 篠原さん (栃商)
- 森戸さん (学悠館)
- 関口さん (翔南)
- 板橋さん (特別支援)
- 鍋木さん (國栃)

チーム② 「マツシュ」

- 五十嵐さん (栃高)
- 須藤さん (栃女)
- 針谷さん (栃農)
- 笠松さん (栃工)
- 増田さん (栃商)
- 木藤さん (学悠館)
- 田名網さん (翔南)
- 鮎澤さん (特別支援)
- 早乙女さん (國栃)

チーム③ 「まちを作るゴジラ」

- 各務さん (栃高)
- 渡辺さん (栃女)
- 石川さん (栃農)
- 千葉さん (栃工)
- 平井さん (栃商)
- 池谷さん (学悠館)
- 山口さん (翔南)
- 佐山さん (特別支援)

ファシリテーター 宇都宮大学教授 陣内雄次氏

市社会教育委員 大波龍郷氏 荻谷悠樹氏

栃木市長

鈴木俊美

市長と高校生の「ぶっちゃけトーク」!?

夢トークの後半に行われた「市長と高校生のぶっちゃけトーク」。最初に鈴木市長が、自身の高校時代について、学生運動の風が吹き荒れていた当時の世相から、高校時代の愛読書、また、ちょっとやんちゃなエピソードなども交えて語り、高校生の皆さんも熱心に、時折笑いも交えながら聞き入っていました。

また、高校生からは「どうして市長になろうと思ったのですか」といった質問や「お給料はいくらもらっているのですか?」というちょっとときわどい質問も。高校生の皆さんと市長の距離を、さらに縮めたひと時となりました。



「高校生夢トーク」を終えて

栃木市としても、今回初の試みとなった「高校生夢トーク」。全日程が終了した後、それぞれのチームからお一人ずつ、参加した感想を伺いました。



鍋木さん (チーム「天チャンズ」)

発表に至るまではすごく大変でしたが、みんなで意見を出し合っただけでやってくる事ができました。栃木市をもっと明るく、活気のあるものにしてほしいです。



早乙女さん (チーム「マツシュ」)

今の栃木市は、なかなか高校生が遊べたり学べたりする場所が少ないので、高校生が将来、UターンであったりJターンであったり、地元に戻ってこられるような栃木市になったら、と思います。



各務さん (チーム「まちを作るゴジラ」)

栃木の安全について変えたい、と発表したのですが、安全についてのたくさんの方の意見を早く実行してもらえれば、と思います。また、他の班の意見も大変参考になったので、ひとつずつ取り組んでいきたいです。